

TOSHIBA

東芝電気温水器用リモコン取扱・工事説明書

HPL-RM41D2

*このたびは東芝電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。


*この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱・工事説明書を良くお読みになり十分に理解してください。

*お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。


安全上のご注意

- ご使用になる前にこの『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

図記号の例

図記号	図記号の意味
	○は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。

分解禁止

表示	表示の意味
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を意味します。

注意

リモコンが浴室など湿度の多いところに取り付けられていないことを確認のこと

火災・感電の原因になります。



禁止

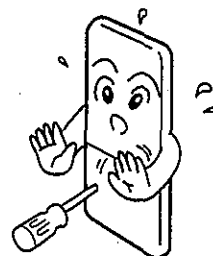


リモコンを分解しないこと

故障の原因となります。

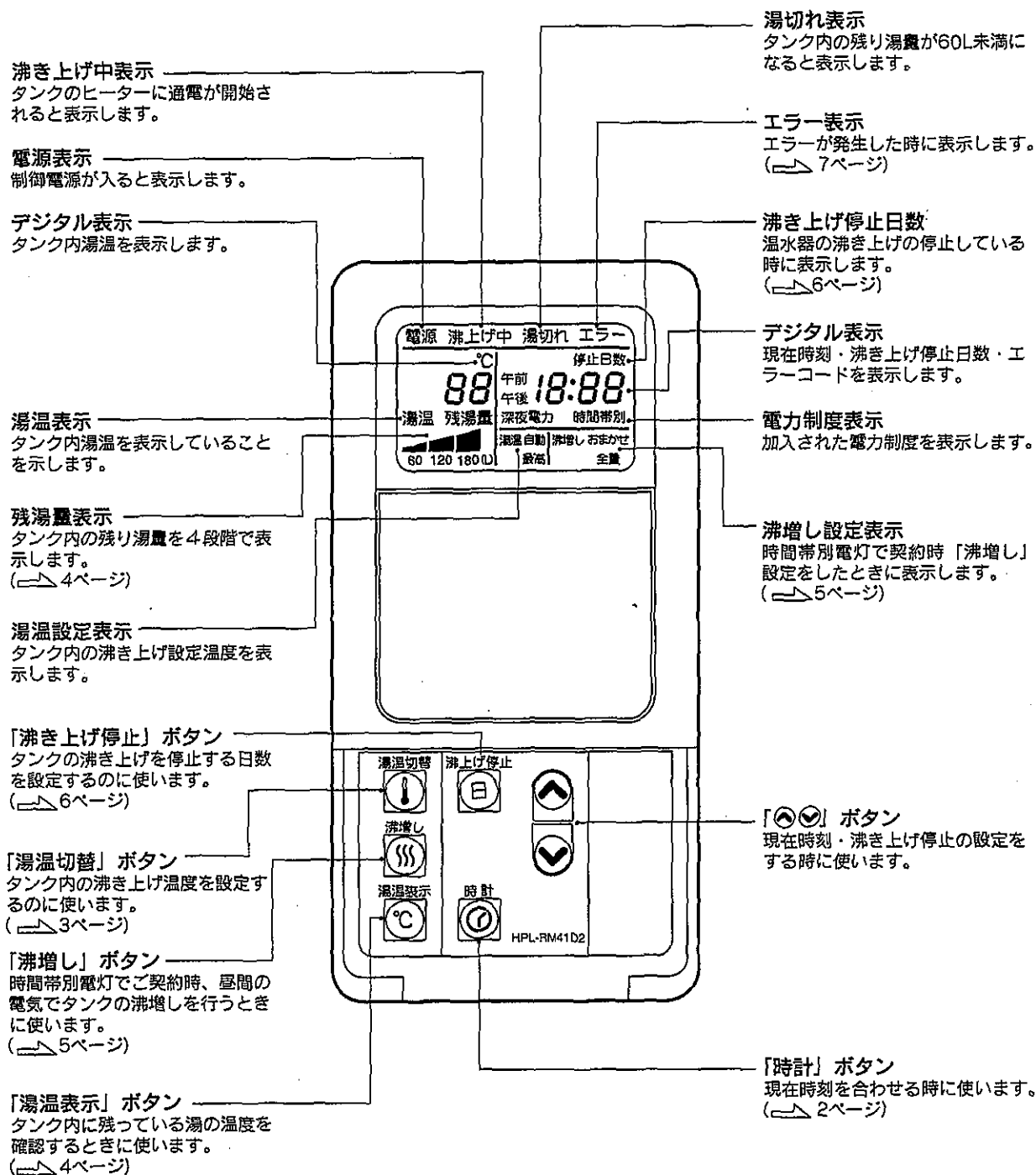


分解禁止



各部のなまえとはたらき

- イラストはフタが開いた状態です。
- 液晶の表示は全表示している状態です。



現在時刻の合わせかた

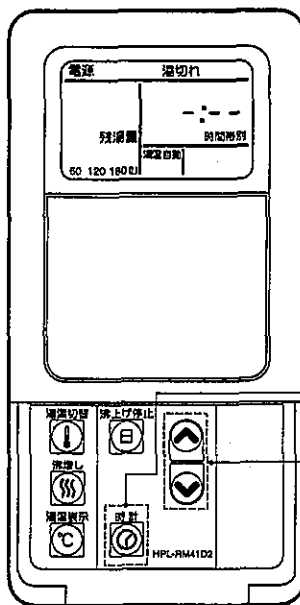
- 時間帯別電灯料金制度で使用する場合には、必ず現在時刻の設定をしてください。設定をしないとお湯を沸かすことができません。
- 誤った時刻を設定すると、思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。
- 深夜電力料金制度で使用する場合には、時刻設定する必要はありませんが、設定しておくくと便利です。

つぎの手順に従って現在時刻を合わせてください。

例) ここでは午後3時45分に合わせることで説明します。

設定手順

1. 遮断器のレバー「入」にします
(左図のように表示されます)



2. 『時計』ボタンを押します
デジタル表示部に午前12時が表示されて、12が点滅します。



午前 12:00
時間帯別

3. 『▲▼』ボタンを押して、午後3時に合わせます

『▲』ボタンを押すと1時間ずつ数字が進みます。『▼』ボタンを押すと1時間ずつ数字が戻ります。



午後 3:00
時間帯別

4. 『時計』ボタンを押します
デジタル表示部の00が点滅します。



午後 3:00
時間帯別

5. 『▲▼』ボタンを押して45分に合わせます

『▲』ボタンを押すと1分ずつ数字が進みます。『▼』ボタンを押すと1分ずつ数字が戻ります。



午後 3:45
時間帯別

6. 『時計』ボタンを押します
ボタンを押すと時刻が決定します。

7. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

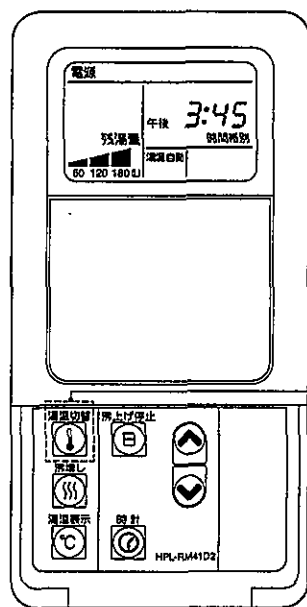
お願い

・ 2時間以上の停電があると、現在時刻がリセットされます。この時は、設定手順に従って現在時刻の設定を行ってください。

各使
部の
い
か
な
ま
え
と
は
た
ら
き

湯温切替のしかた

- ご家庭のお湯の使用量に応じて、タンクの沸上げる温度を2段階に選べます。
- 冬場の水の温度が低いときや、沸上げ中に停電があった場合には設定温度より低い温度に沸き上がります。
- 本体の設定により初期値は「自動」になっています。



設定手順

1. 『湯温切替』ボタンを押します
ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

湯温切替



湯温	自動
↑	
↓	
湯温	最高

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

●湯温調節のめやす

- 自動……約75℃～約90℃
(水の温度に応じて沸き上げる温度が変わります。)
- 最高……約90℃
(水の温度が15℃未満のときは沸き上がりません。)

夜時間帯になり、タンク沸き上げ用のヒーターに通電されると『沸上げ中』が表示されます。(破線部)
タンク沸上げは夜時間帯になってもすぐには通電されないことがあります。

マイコンが自動的に通電を開始するのを遅らせているため故障ではありません。

電源 [沸上げ中]

午前 1:45
残湯量 時間帯別

メモ

●来客があるときは

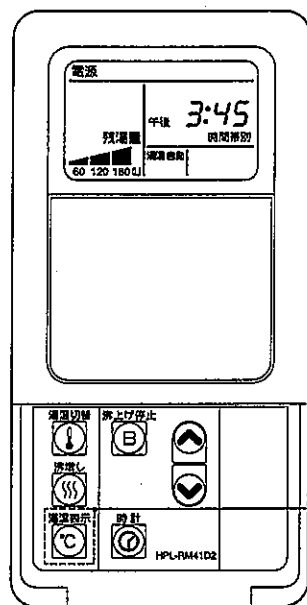
前日に湯温切替ボタンを押して「最高」に切り替えておきます。(「自動」のとき)



湯温表示のしかた

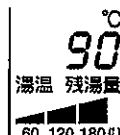
- タンク内に残っているお湯の温度を確認できます。ただし、給湯せんから出てくる温度とは異なります。
- 表示した後は、約10秒後に自動的に現在時刻に戻ります。

操作手順



1. 『湯温表示』ボタンを押します

ボタンを押すと約10秒間タンク内の温度が表示されます。



2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

残湯が少なくなり、タンク沸き上げ用のヒーターに通電されると湯と水が混合され急に消灯することがありますが異常ではありません。

使いかた

残湯量の見かた

- タンク内にお湯があると表示します。表示と表示に対するお湯の残量量は、下記の表の通りです。

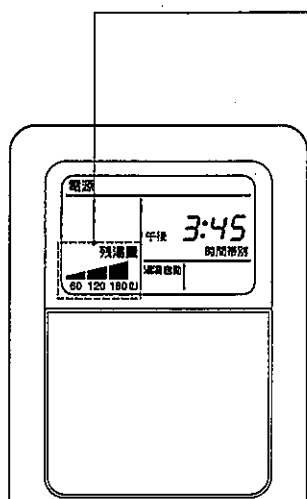
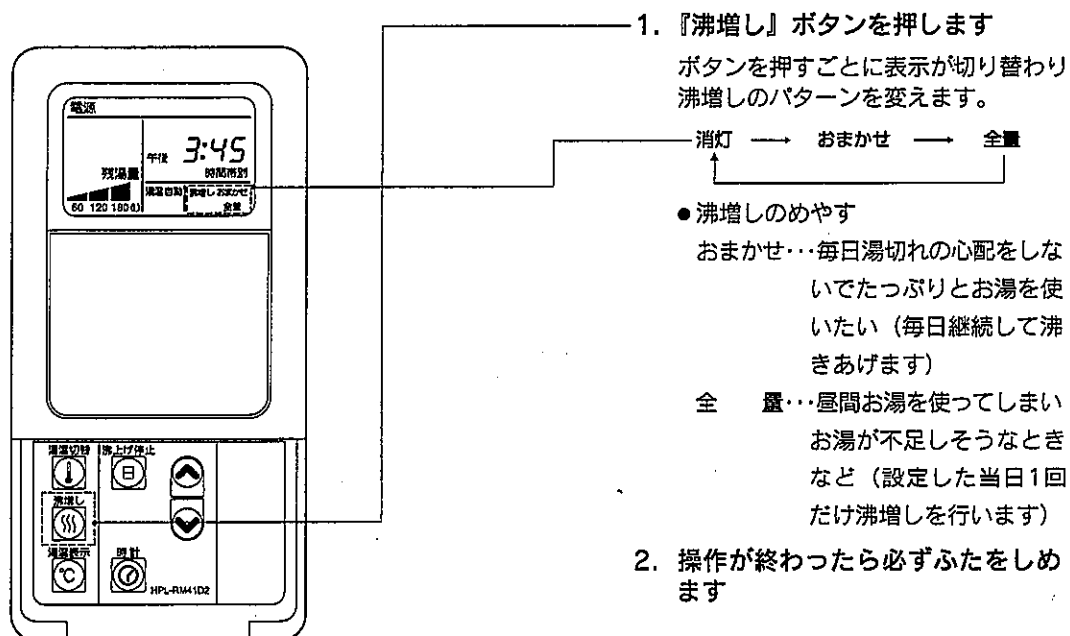


表 示	残 湯 量
 60 120 180 (L)	180L以上
 60 120 180 (L)	120L以上 180L未満
 60 120 180 (L)	60L以上 120L未満
 60 120 180 (L)	60L未満

沸増しのしかた

- 『時間帯別電灯』で使用しているときに使用できます。「沸増し」は昼間の電気でお湯を沸かす機能です。
- 深夜電力料金制度でご使用の場合は『沸増し』はできません。
- ご家庭のお湯の使用量に応じて、タンクのお湯の『沸増し』が2段階で選べます。お湯の残りをめやすに『沸増し』の設定をしてください。
- 来客などで、いつもよりたくさんのお湯が必要なときなどあらかじめ設定しておくとお湯が足りなくなるのを防ぎます。
- 『沸増し』をするとお湯をたっぷりと使えますが、昼間の電気を利用するので電気料金が割高になります。
- 現在時刻が設定されていないと『沸増し』はできません。

設定手順



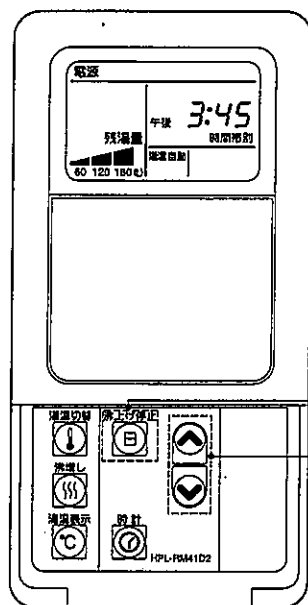
解除の方法

「沸増し」ボタンを押して表示を消灯させ
ます。

項目	こんなとき 毎日湯切れの心配をしな いでたっぷりとお湯を 使いたい	昼間お湯を使ってしまいお湯が不足しそうな とき
沸 増 し 設 定	おまかせ	全 量
沸増しのしかた		
沸 増 し の 条 件	朝7時から夕方5時の間でお湯を約60L使用 すると何回でも沸き増しを行う	設定したときから1回だけ沸き増しを行う
解 除 の 方 法	「沸増し」ボタンを押して沸き増しの表示を消灯させる	
備 考	夜の間に沸き上がらなかったときに継続して約 2時間余分に沸き上げを継続する	

沸き上げ停止のしかた

- 旅行などで家を留守にする間のお湯を使用しないときなどは、タンクのお湯の沸き上げを停止することができます。
- 沸き上げ停止日数は、2日から14日まで設定することができます。



設定手順

1. 『沸き上げ停止』 ボタンを押します
ボタンを押すと2の表示が点滅します。



停止日数
2
時間予約

2. 『▲▼』 ボタンを押します
ボタンを押すと停止日数予約の数字が増え(減り)ます。



停止日数
6
時間予約

3. 『沸き上げ停止』 ボタンを押します
ボタンを押すと、数字が点滅から点灯に変わり停止日数が決定します。

4. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

停止日数の決めかた

例) 2月1日に出発して、2月7日に帰宅する6泊7日の旅行の場合
6泊7日
出発日(2月1日)に停止日数予約6を設定する。
1日経過ごとに日数が1日ずつ減っていきます。

●沸き上げ停止の解除のしかた

- 沸き上げ停止日数は、次の手順で解除してください。

手順

1. 『沸き上げ停止』 ボタンを押します
停止日数が点滅します。



停止日数
6
時間予約

2. 『▲▼』 ボタンを押す
ボタンを押して0に合わせます。

3. 『沸き上げ停止』 ボタンを押します
ボタンを押すと停止日数が解除されて現在時刻が表示されます。



3:45
時間予約

その他の解除方法
『沸き上げ停止』 ボタンを2秒以上の長押しをします。
表示が0に戻り、15秒後には現在時刻が表示されます。

4. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

エラーの表示と処理のしかた

※メインリモコンに表示されます。

- この電気温水器には異常時の自己診断機能があります。
- 現在時刻表示部に次の表示が出ているときは下の表に基づいて点検およびお買い上げ店に修理の依頼を行ってください。

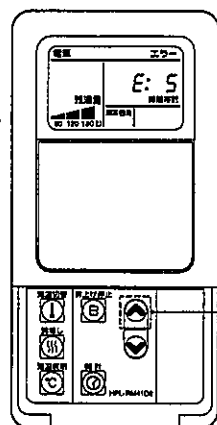
故障でもお湯を沸かせる (○:できる、×:できない)
 エラー手動解除できる (○:できる、×:できない)
 エラー自動解除する (○:できる、×:できない)

表 示	原 因	故障箇所・原因	タンク 沸上げ	エラー解除		対 処 方 法
				手動	自動	
E: 1	サーミスタ故障	水温湯温センサー	○	×	○	・センサーの確認 ・回路の断線開放確認 ・お買い上げ店に修理の依頼を してください。
E: 2	〃	残湯180Lセンサー	○	×	○	
E: 3	〃	残湯120Lセンサー	○	×	○	
E: 4	〃	残湯60Lセンサー	○	×	○	
E: 5	深夜電力24時間停電	温水器側の電源投入が 24時間中1度もなかった。	○	○	○	・停電 ・タイムスイッチ不良 ・漏電遮断器 ・引込み配線の断線 ・PC板コネクタの確認
E: 6	深夜電力2時間以上停電	2時間以上の停電あり で沸上がらない	○	○	○	・タイムスイッチ ・漏電遮断器 ・長時間の停電
E: 9	交信異常	リモコンと交信せず	○	○	○	・本体基板不良
E: Hc	タンク温度異常	タンク内温度が95℃ 以上	×	○	×	・水温湯温センサーの不良 ・本体PC板の不良 ・本体リレー故障
E: HP	タンク圧力異常	タンク内圧力350 kPa 以上	×	○	×	・本体PC板の不良 ・逃し弁不良
E: HL	タンク水位異常	タンク内が満水でない	○	○	×	・専用止水栓の確認 ・給水方法の確認 ・センサーの確認 ・センサー部の保温材のめくれ 確認

エラー解除のしかた

※エラーの解除は、メインリモコンで行えます。

- リモコンの表示部にエラー表示した際には手順に従って解除してください。
- エラーには、解除できるものとできないものがあります。『エラーの表示と処理のしかた』をご覧ください。



操作手順

1. 『⏻』ボタンを3秒間押し続けます
ボタンを長押しするとエラーの表示が消灯し、現在時刻に戻ります。
2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

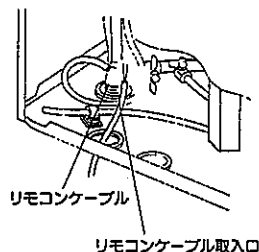
工事説明書

●本体との接続

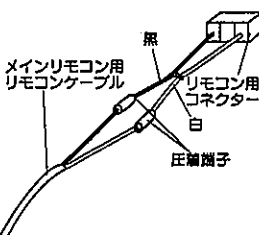
- リモコンケーブルは、電源電線と交差しないように引き込んでください。
- リモコンケーブルを本体に接続する際には必ず配線用遮断器を「切」にして作業を行ってください。
- 必ず専用の別売り部品のリモコンケーブルを使用してください。

(1)前面カバー上下をはずします。

(2)リモコンケーブルをリモコンケーブル取入口に通して電装品取付板の左側面の穴から本体内に引き込みます。

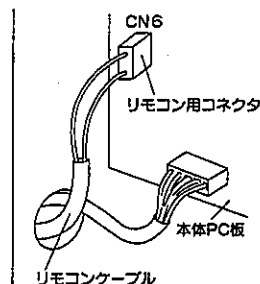


(3)リモコン用のコネクタには、リード線がついています。メインリモコンのリモコンケーブルを同じ色どうして加締めてください。
適用圧着工具:YNT-2216相当



(4)加締め後ケーブルが抜けないうことを確認してください。

(5)本体PC板のCN6(リモコン)に接続してください。



(6)ケーブルは付属のケーブル押えて確実に押えてください。

(7)電源ケーブルとリモコンケーブルが、交差しないよう穴にまっすぐおろしてください。

—お願い—

- 電源ケーブルとリモコンケーブルは離して接続処理してください。
- リモコンケーブルを本体内に引き込む時は、必ず指定の穴から引き込んでください。
- 途中たるみのないようにリモコンケーブルを張ってください。

●リモコンとの接続

配線用遮断器を「切」にして工事してください。

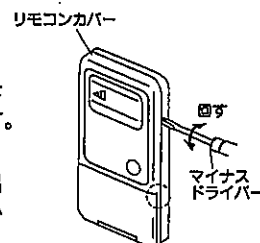
●取付場所の選定

- ・リモコンは、必ず屋内に取り付けてください。
- ・リモコンは防水タイプではないので、浴室内等の湿気の多いところには据え付けしないでください。
- ・リモコンは、操作しやすく見やすい場所に取り付けてください。

●取付け

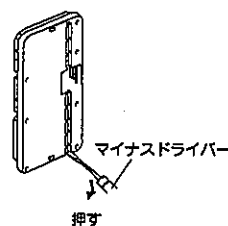
1.ケーブル露出配線

(1)マイナスドライバーでリモコンのカバーをはずします。

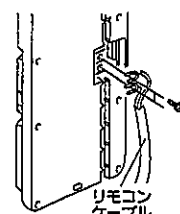


(2)リモコンケーブルの引き出し方向を上向きか下向きかに決めます。

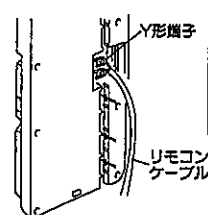
(3)決めた方向のつめを割ります。
つめはドライバーを溝に入れて上または下方向に倒せば割れます。



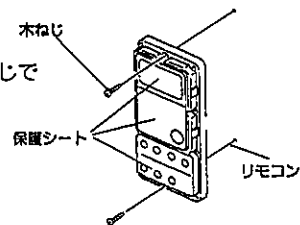
(4)リモコンケーブルの線の先端を約6mm皮むきし付属のY形端子を加締めした後、リモコンにねじ止めします。
適用圧着工具:YHT-2210相当



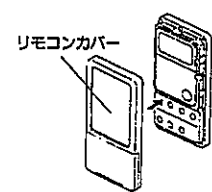
(5)リモコンケーブルをリモコンの溝に沿わせてはめ込みます。
この時ケーブルのY形端子部分にたるみを持たせてください。



(6)リモコンを付属の木ねじで壁に止めます。



(7)リモコン各部表面の保護シートをはがします。

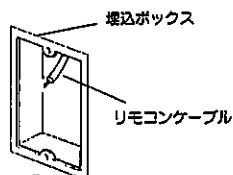


(8)リモコンカバーをはめます。

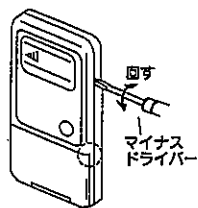
エラーの表示と処理のしかた
工事説明書

2. ケーブル埋込み配線

- (1) ケーブルを埋込ボックスまで引き込みます。

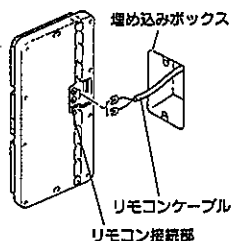


- (2) マイナスドライバーでリモコンカバーをはずします。

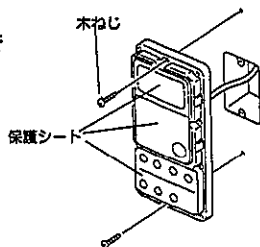


- (3) リモコンケーブルの線の先端を約6mm皮むきし付属のY形端子を加締めた後、リモコンにねじ止めます。

・適用圧着工具: YHT-2210相当

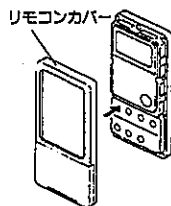


- (4) リモコンを付属の木ねじで壁に止めます。



- (5) リモコン各部表面の保護シートをはがします。

- (6) リモコンカバーをはめます。



付属品

- | | |
|-----------------------------|----|
| ●木ねじ | 2本 |
| ●ケーブル押え 5N(ケーブル2本止め用) | 1個 |
| ●ケーブル押え 3N(ケーブル1本止め用) | 1個 |
| ●サラ小ねじ(リモコン取付け用) | 2本 |
| ●オールプラグ(リモコン取付け用) | 2本 |
| ●Y形圧着端子 | 2個 |
| ●リモコン用コネクター
(本体PC板との接続用) | 1本 |

●試運転

●時間帯別料金の場合

1. 配線用遮断器を「入」にします。

2. 本体PC板のリセットボタンを押した後に、リモコンに右図のように表示するか。
(「時間帯別」を表示するか)

・メインリモコン



3. 取扱説明書のP2の「現在時刻の合わせかた」により現在時刻が設定できるか。

4. 「沸増し」ボタンを押してヒーター通電するか。
(「沸上げ中」の表示はでるか)
(現在時刻を設定していないと通電しません。)

●深夜電力(通電制御)の場合

1. 配線用遮断器を「入」にします。

2. 本体PC板のリセットボタンを押した後に、リモコンに右図のように表示するか。
(「時間帯別」を表示するか)

・メインリモコン



3. 取扱説明書のP2の「現在時刻の合わせかた」により現在時刻が設定できるか。

4. タイムスイッチを「入」にしたとき「深夜電力」の表示がリモコンに表示されるか。

5. ピークシフトしている時は本体右側(制御用)の漏電遮断器を5秒以上「切」にし、再び「入」にしたとき通電するか。
(「沸上げ中」の表示はでるか)
(積算電力計は動作しているか)

・メインリモコン

